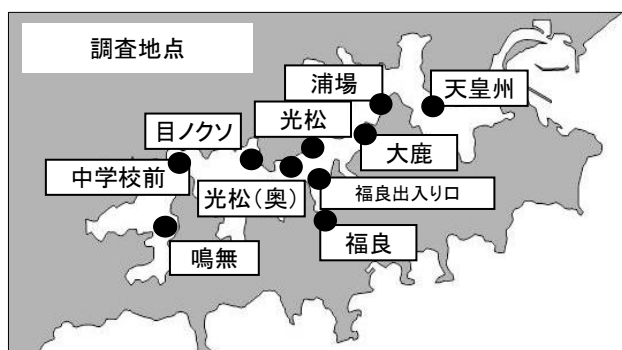


本日、午前9時に浦ノ内湾でプランクトン調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で7 cells/mL、カレニア・ミキモイが最高で14 cells/mL、貝類に対して有害なヘテロカプサ・サーキュラリスカーマが最高で28,700 cells/mL確認されました。現在、魚類に対して有害なプランクトンは減少していますが、依然として2m層よりも深い層では貧酸素状態が続いています。養殖魚が摂餌、遊泳する時は多くの酸素を消費しますので、給餌、網替え等の養殖作業を行う際は十分注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

	深度	シャットネラ属	カレニア・ミキモイ	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ
中学校前	2.5m	3	1	820
	5m	4	1	2,850
福良	1.3m	1	0	2,250
	5m	1	0	1,050
光松	1.2m	7	4	5,800
	5m	0	9	1,450
大鹿	0.5m	4	14	28,700
	5m	2	6	2,260
天全州	0.5m	0	1	3,240



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ： 数百 cells/mL以上（魚類等のへい死）
- ・シャットネラ属： 10 cells/mL以上（魚類へい死）
- ・ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ： 50 cells/mL以上（貝類のへい死）

水温(°C)							
調査定点	中学校前	光松(奥)	福良	福良(出入り口)	光松	大鹿	浦場
0m	29.6	30.0	29.9	30.2	30.1	30.1	30.1
1m	29.6	30.0	29.9	30.1	30.1	30.0	30.0
2m	29.0	29.8	29.8	30.0	29.7	29.9	29.7
3m	28.8	29.7	29.8	29.7	29.6	29.7	29.6
4m	28.8	29.2	29.0	29.5	29.4	29.5	29.6
5m	29.0	29.2	28.9	29.5	29.4	29.4	29.5
10m	28.6	29.2	28.8	29.3	29.3	29.3	29.3
B-1m	28.5	28.6		29.1	29.3	29.2	29.3

塩分							
調査定点	中学校前	光松(奥)	福良	福良(出入り口)	光松	大鹿	浦場
0m	30.4	30.5	30.7	30.6	30.6	30.7	30.8
1m	30.4	30.5	30.7	30.6	30.6	30.9	31.2
2m	31.1	30.6	30.7	31.2	31.4	31.0	31.8
3m	31.3	30.9	31.1	31.7	31.7	31.4	32.0
4m	31.6	31.6	31.5	31.8	31.9	31.8	32.1
5m	31.8	31.9	31.6	31.9	32.1	32.1	32.2
10m	31.9	32.2	32.1	32.2	32.3	32.4	32.4
B-1m	32.0	32.2		32.3	32.5	32.6	32.5

溶存酸素量(mg/L)							
調査定点	中学校前	光松(奥)	福良	福良(出入り口)	光松	大鹿	浦場
0m	7.5	9.8	10.0	11.7	10.7	11.0	11.2
1m	7.3	9.8	9.8	11.9	10.8	10.4	10.4
2m	1.7	9.6	8.5	11.3	9.3	9.1	5.1
3m	0.3	8.0	4.9	5.9	2.9	5.8	3.6
4m	0.1	1.8	0.6	3.1	2.9	3.3	3.9
5m	0.6	1.3	0.1	2.5	2.6	2.7	4.2
10m	0.9	2.5	1.2	3.0	3.2	3.3	3.9
B-1m	0.3	0.1		3.8	4.9	4.8	4.5